



端末セキュリティの健全性をチェックする「C-Audit」活用事例インタビュー
効果的なガバナンス強化とリスク最適化のアプローチ

東京海上日動システムズ株式会社

社内システムサービス部

佐々木 英恵さん、馬込 奈保さん、石山 圭佑さん

<https://www.tmn-systems.jp/>



東京海上日動システムズ

【事業内容】 東京海上日動火災保険、東京海上日動あんしん生命保険等、
東京海上グループの情報システムの企画・提案・設計・開発・保守・運用

今回、東京海上日動システムズの社内システムサービス部で、自社環境のセキュリティマネジメントの企画から運用管理までを担当されている佐々木さん、馬込さん、石山さんに、端末セキュリティの健全性をチェックする「C-Audit」の活用経緯やご感想についてお話を伺いました。

C-Audit の活用に至った経緯を教えてください



佐々木 英恵 課長

最初に「C-Audit」の導入を決めた時、自社の端末の環境管理が整い、安定した運用体制が構築されつつありました。一方、ガバナンスの観点から見てみると、うまく手が届いていない部分もあるかもしれないと考え、第三者の視点で実際の運用状況を検証し、本当に適切に運用されているかを確認することが有効ではないかと考えていました。ちょうどその時に、オリエント社から端末セキュリティの健全性をチェックする「C-Audit」の提案をいただきました。実際に組織の中で起きている状況を端末側から可視化するこ

とで、社内では気づけなかったリスクや見落としとしていた管理上の盲点を発見し、それに基づいて具体的な対策を講じることができると期待して「C-Audit」の導入を決定しました。

実際にサービスを受けてみて、特に評価しているポイントを教えてください

実際に最近サービスを受けた際に感じたことですが、既に導入しているモニタリングソリューションでは客観的なデータが提供されるものの、そのデータだけでは内容を読み解きにくく、具体的な対処法がわからず、行動に移しづらいという課題がありました。一方、C-Auditの報告レポートでは、具体的にどのサービスがどのように危険で、悪意のある第三者がどのようにそれを悪用する可能性があるかを簡潔でわかりやすく解説・指摘していただきました。その結果、リスクを具体的に理解し、対策をどう進めれば良いかが明確になり、統合管理がさらに前進したと感じました。



石山 圭佑 シニアエンジニア

その点でも、C-Auditの手軽さや、サービス面での内容フォローが充実していると感じました。他のサービスでもツールを導入して可視化するところまでは可能だと思いますが、その後の第三者評価という点では、これまでいただいた報告書を見ても、総評と詳細評価の項目が非常に網羅的で、細かく丁寧に示していただいているという印象を受けています。実際に活用してみて、リスク管理を常に最適化する方法として効果的だと改めて感じました。

どの様な企業にお勧めできますか

既にある程度のセキュリティやITインフラが整った企業が、既存の環境をさらに最適化するために診断を行うことで、新たな課題や改善点を見つけ、運用の精度を向上させることが可能であると考えます。そういう観点から、成熟度をさらにあげていくことを求める企業に向いているといえます。

私たちは、端末にEDRが導入されていなかった初期の段階から「C-Audit」を活用しており、前回もWindows 8.1から10に切り替える際に活用しました。有効な活用方法の一つとして、特に大規模な端末の切り替え・更新を行う企業においては、環境を移行する前にリスクのあるプログラムや脅威を新しい環境に持ち込まないように、見落としがちなリスクを予め取り除くことが重要です。これにより、セキュリティ環境上の設計の抜け漏れを防止し、移行後の安定した運用を確保するための確認プロセスを取り入れることができるので、移行後のリスクを最小限に抑えることに繋がります。

また、DX やビジネス推進の観点から、ユーザーの端末利用の自由度を高めつつも、運用管理を強化するバランスを取ろうとしている企業においては、この診断を行うことで、その企業固有の考えや環境に基づいた興味深い知見や結果が得られ、リスクの最適化やバランス調整に非常に役立つのではないかと思います。

今後オリエントに期待することがあれば教えてください



馬込 奈保 シニアエンジニア

私たちは、リスクを回避しつつも積極的にビジネスを運営できる環境を整えることが求められており、そのため非常に緊張感を持って日々の仕事に取り組んでいます。また、私たち自身も日々学び、知見を蓄積していく必要があります。この過程で、オリエント社の豊富な知識と経験に基づく提案やアドバイスが非常に役立っています。私たちの業務や状況に寄り添いながら、引き続き具体的な助言を提供していただけることを期待しています。

さらに、サイバーセキュリティ分野は急速に変化しているため、業界全体のトレンドや他社の取り組みに関する情報提供も不可欠です。自社内だけでの広範な情報収集は難しい部分もあるので、オリエント社が持つ業界ネットワークと知識を活用し、適切な情報を提供していただければと考えています。



以上

【問い合わせ先】

株式会社オリエント法人営業、または問い合わせフォームまで

(<https://krs.bz/orient/m/orient>)